

会 議 録

会議の名称	平成25年度 第1回 所沢市地域福祉推進検討委員会
開催日時	平成25年7月9日（火） 14時00分 ～ 15時50分
開催場所	市役所高層棟7階 研修室
出席者の氏名	大島委員 岡村委員 小原委員 神武委員 柴井委員 仲田委員 難波委員 長谷川委員 羽鳥委員 広瀬委員 福田委員 前橋委員 山江委員 吉田委員
欠席者の氏名	小田島委員
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 今年度の進め方について (2) 次期計画について (3) その他
会議資料	①平成25年度 第1回 所沢市地域福祉推進検討委員会 次第 ②資料1：所沢市地域福祉計画及び所沢市地域福祉推進検討委員会について ③資料2：次期地域福祉計画について ④所沢市地域福祉推進検討委員会設置要綱 ⑤委員名簿
担当部課名	福祉部 福祉総務課 地域福祉推進室 電話04（2998）9113 福祉部長 本橋 則子 福祉部次長 美甘 寿規 福祉総務課長 北田 裕司 福祉総務課主幹 池田 康徳 福祉総務課主査 佐藤 尊之 福祉総務課主任 井上 大樹 福祉総務課主任 加賀屋 浩介 福祉総務課主任 小古井 一樹

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
池田主幹	<p>1. 開 会</p> <p>開会を宣言した。</p>
	<p>2. 委嘱状の交付</p> <p>前任委員の解嘱の報告後、新任委員4名に委嘱状を交付。</p>
前橋会長	<p>3. あいさつ</p> <p>新しい4名の委員をお迎えし、新しいアイデアもいただきながら、皆で連携して、住みよい所沢を作るべく頑張っていきたい。地域福祉計画の充実のためにも、ぜひ、よろしくお願ひしたい。</p>
池田主幹	<p>○副会長の選任</p> <p>松本前副会長の退任により、空席になっていたもの。 委員の互選により、柴井委員を副会長に選任した。</p> <p>○会議に関する説明・資料の確認</p> <p>下記事項の説明を行い、その後、資料の確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の終了予定時刻（午後3時30分） ・会議の公開と会議録の方式（要約方式、会長の承認・署名をもって確定する） ・傍聴希望者0名、報道機関0名
前橋会長	<p>4. 議 題</p> <p>（1）今年度の進め方について</p> <p>事務局から、今年度の進め方案をご説明いただきたい。</p>
佐藤主査	<p>まず、所沢市地域福祉計画（以下、市計画）の概要と、所沢市地域福祉推進検討委員会のこれまでの取り組みを改めて確認させていただきたい。</p> <p>市計画は、平成17年3月に策定され、平成17年度から26年度までの10ヶ年を計画期間としている。また、3年ごとに見直しを行い、市長への提言を実施している。この委員会は、平成17年10月から、市計画の取り組みの進捗状況や事業の方向性をチェックし、計画の推進方法を検討することを目的として、設置されたものである。委員の任期は、委嘱から3年である。現在の委員は、第3期の委員にあたり、任期は平成26年11月末までとなっている。</p> <p>市計画と所沢市社会福祉協議会（以下、所沢社協）の地域福祉活動計画（以下、社協計画）は、ともに地域福祉の推進を目指すものであり、その方向性の中で、内容の共有・連携を図っている。また、現在、建設準備を進めている、平成28年4月供用開始予定の「（仮称）所沢市総合福祉センター（以下、総合福祉センター）」の中には、市の直営の「（仮</p>

	<p>称) 地域福祉推進室」とともに、所沢社協も入ることになっており、市と所沢社協との関係性においては、より連携して地域福祉の推進を図っていくことが求められる、と認識している。</p> <p>今年度は、次期の市計画が平成27年度からスタートすることを見据えて、現行計画の総括を行うとともに、次期計画に盛り込むべき視点を、次期計画の策定に反映させることができるよう、今年度中に提言としてまとめた上で、市長に提出するべく、進めていきたいと考えている。</p> <p>今年度の委員会は、本日を含めて全3回の開催を予定している。今回は、今年度の会議の進め方と次期計画の概要を共有し、第2回では、委員の皆さまのご意見を集約した提言書の案を提示し、それをたたき台に、ご意見をさらに伺いたいと考えている。そのために、11月に開催予定の第2回までの間に、委員の皆さまと、郵送、電子メール等によるやりとりをさせていただき、いろいろなご意見をいただきたい。そして、それらのご意見を踏まえた上で、提言書の案として、第2回の会議で提示したい。第2回での討議を経て、前橋会長とも調整のうえ、年明け2月ごろに予定している第3回会議においては、提言の最終内容の報告を行うとともに、市長へ提出する内容として、取りまとめたいと考えている。</p>
前橋会長	<p>只今、事務局より、これまでの経緯と取り組み、今年度の委員会の進め方についてご説明をいただいたが、ご意見はあるか。</p>
神武委員	<p>意見のやりとりについては、事務局と個々の委員の間だけで行うのではなく、会議として、テーブルに着いて、議論をすることが大事だと思う。必要であれば、3回の会議だけではなく、作業部会を開くなどして、議論するべきではないか。</p>
北田課長	<p>事務局としては、第2回の会議までの間に、委員の皆さまから広く意見をいただいた上で、事務局としての案を作成したいと考えている。</p>
前橋会長	<p>事務局では、各委員からの意見を集約したものとして、第2回には提示したいということだが、いかがか。</p>
神武委員	<p>地域福祉は、議論を積み上げながら行っていくことが大事であり、同じテーブルの上で進めていくことが大切だと思う。この10年間の市計画の取り組みを振り返り、課題や反省なども踏まえた上で、提言を行い、次の計画につなげるのが大事なことだと考える。</p>
美甘次長	<p>事務局としては、会議の回数を定めた中で、計画的に今年度の取り組みを進めていきたい、と考えている。委員の皆さんからお寄せいただいた意見を取りまとめて、第2回の会議で提示させていただき、そして、改めて議論を深めていただくことで、より活発な意見交換ができるような場にしていきたいと考えている。</p>
前橋会長	<p>神武委員のご意見にもあったように、いろいろな委員のご意見を聞くことにより、また</p>

	<p>違った視点からの刺激を受けて、よりよい議論ができると思う。第2回の会議までに、事務局で意見を整理していただいた上で、会議の場では、委員の皆さまの声として、それらを提示していただき、また次の議論の材料とする、ということでのよいのではないかと。</p>
佐藤主査	<p>事務局としても、広く委員の皆さまからご意見をいただいたものをまとめた形で、事務局案としてお示ししたいと考えている。それをもとに、次回の会議において、またご意見をいただければと思う。</p>
前橋会長	<p>では、第2回の会議までの期間はそのように準備をしていただき、改めて、会議の場での議論を経たのちに、必要に応じてワーキンググループも設け、継続して意見を出し合っていければと思う。他の委員の方のご意見はいかがか。</p>
大島委員	<p>今回から委員として参加させていただく。私が携わるのは、これまで取り組みがなされてきた10年間の市計画の、終わりの何年かにあたる時期だと思うが、この10年間の報告、総括をきちんと行った上で、次の段階へと進むべきではないかと。</p> <p>新聞に掲載されていた長野市の事例では、行政と住民とが協議会を組織し、地域住民や団体などが主体となり、事業を推進しているとのことだった。所沢市では、人口減少をはじめとする社会状況を踏まえ、今後を見据えた上で、計画の検討に割く人員や、予算の裏付け等も、明確になっていないように思う。</p>
北田課長	<p>これまでの市計画の振り返りと、今後の社会情勢も踏まえて、次期計画を作成していかなくては、という視点でのご提案をいただいた。委員の皆さまのご意見を踏まえて、次へつなげていきたい。</p>
大島委員	<p>また、今後、「総合福祉センター」に同居することも見据え、市と所沢社協が両輪になって進めていきたいとの説明があった。イメージとしては分かるが、実態としてはどうなのか。そこで、所沢社協において、地域福祉に携わる職員の方は何名くらいいて、予算規模はどのくらいのものなのか、お尋ねしたい。</p>
難波委員	<p>地域福祉に携わる職員は、正規職員5名と臨時職員である。予算規模は、共同募金や会費収入により財源を充てている中で、人件費を除き、およそ2千万円程度を見込んでいる。</p>
大島委員	<p>その他に、地域の実態を振り返ってみて、今後を見据えた上で、押さえておかなければならない部分はどこなのか。情報の管理についても、市が持っている情報を、いざという時に出すことができるのか。このことに関して、個人情報保護の観点から、所沢市ではどこまで考えているのか。必要な情報の提示がないと、地域としても協力体制が取りづらいということは、日頃、感じているところである。</p>
本橋部長	<p>個人情報の取り扱いについては、非常に重く受け止めており、市としても慎重に検討し</p>

	<p>ている。身体や経済的な状況など、どの程度まで、地域の関連の方々には開示していくべきなのか。通常時、非常時の対応も兼ね合わせ、個人情報の取扱いについては、全庁的に、十分に協議していきたいと考えているので、ご理解をいただきたい。</p>
山江委員	<p>個人情報の問題については、地域包括支援センターとしても、何年も前からの懸案である。同意を得れば情報を出せると言われているが、これまでには、同意を得ていても難しいケースもあった。結果として、情報が出てこないことが、ご本人にとって不利益に働く場合もある。地域包括支援センターにおいては、相談の件数も増加傾向にあり、個人情報については非常に重たい問題だと認識している。また、高齢者や障害者の分野など、他の計画との連携を図った上で、地域福祉の計画とうまく交わっていくようにしていただき、各委員にとってわかりやすく、意見を出しやすいような働きかけをいただければと思う。</p>
本橋部長	<p>個人情報の取り扱いについては、目的や用途などが明確であり、何のために使うのか、何に使うのか、はっきりした同意があれば、出している。その点については、ご理解をいただきたい。</p>
大島委員	<p>個人情報については、他自治体の例では、行政と民生委員とで協議をして対応を規定しているものもあり、また、過去に厚生労働省からも個人情報の取り扱いについての周知がなされていると思うが、対応が遅いのではないかと。</p>
美甘次長	<p>個人情報については、個人情報保護条例もあり、法に守られている部分もある。民生委員の皆さまの活動や、孤立死防止の観点からの必要性、また、各自治体の取り組みについても、認識しているところである。現状、所沢市では、本人の同意があれば一定の情報を提供する、ということで、一定の理解を得ていると考えている。</p>
神武委員	<p>ご意見があったように個人情報の問題もあるが、それ以前に、地域で、近所で、お互いに支え合う仕組みを作っていくのが、地域福祉の土台であると思う。繰り返しになるが、議論する場や、会議に関する情報をもっといただければと思う。今後、それぞれの委員の意見を、皆がわかるようにしながら、進めていただけたら良い。</p>
前橋会長	<p>各委員からいろいろなご意見をいただいたところで、整理させていただきたい。次回は、11月に会議を予定しており、そこで、事務局から委員の皆さまから寄せられたご意見を集約した提言書の案を提示していただく。それまでの期間に、各委員から、個々のご意見や、会議の中で取り上げてほしい内容について、メールや電話、もしくは対面で、事務局に提示していただく。事務局からは、他の計画の関連情報なども出していただくこととして、第2回の会議を迎えるまで、進めていければと思う。</p>
北田課長	<p>事務局としても、そのように考えている。委員の皆さまのご意見を踏まえ、また、それぞれに分かるような形で進めていきたい。あわせて、他の計画の情報も提示していきたい。</p>

神武委員	<p>情報が事務局だけに集中するのではなく、委員に共有させていただければと思う。</p>
美甘次長	<p>ご意見の中でワーキンググループ開催のご提案もいただいたが、前提として、この委員会の今年度の予定として、計画的に、全3回の開催を予定しているものであり、その点についてはご理解をいただきたい。また、現行計画の総括という視点については、今年度の取り組みの中で実施する、市長への提言の中に反映させていただければと思う。次期計画については、皆さまのご意見を踏まえた形で、進めていければと考えている。</p>
前橋会長	<p>次回の会議までに、いろいろなご意見やご質問など、事務局と各委員とでキャッチボールをしていただきたい。その上で、事務局におかれては、次回の会議の場では、議題として共有し、話し合いがもてるような形にして、進めていただきたい。</p> <p>では、続いて、議題2の説明を事務局よりお願いしたい。</p>
佐藤主査	<p><u>(2) 次期計画について</u></p> <p>現行の市計画は、平成17年に策定し、平成26年度末までの10ヶ年を期間とした計画である。平成25年度中に、この委員会から、現行計画の総括として次期計画の策定に向けた提言を行い、平成26年度を計画の策定期間に充て、平成27年度からは新しい計画がスタートする、という流れを予定している。</p> <p>まず、計画期間については、地域福祉を取り巻く環境の変化のスピードに、より柔軟に対応できるよう、5年を計画期間として策定したいと考えており、現行の計画と同様に進行管理をはかっていく中で、計画期間の途中で見直しを行いたい。</p> <p>次に、市計画と社協計画とが、住民参加を通じて地域福祉の推進を図るという共通の目的をもつものであり、現行の計画が、ともに平成27年3月末までを期間としていること、また、平成28年4月供用開始予定の「総合福祉センター」の中に、市の機関である「(仮称)地域福祉推進室」とともに所沢社協が入居する予定であることから、次期計画については、より社協計画との連携を図り、策定していきたいと考えている。</p> <p>また、策定にあたっては、限られた期間の中で効率的に策定作業を行うことや、現行計画の理念やこれまでの取り組み等を踏襲しながら、他自治体の事例や先進事例などを踏まえ、地域福祉計画として求められる内容を備えた計画とすることを目的に、地域福祉計画の策定に係るノウハウ、専門知識を備えたコンサル事業者に、策定業務を委託したいと考えている。</p> <p>最後に、次期計画に反映させるべき視点として、厚生労働省から平成19年に通知されている、「災害時要援護者の支援に関して、日常からの見守りや助け合い活動を推進し、緊急時の要援護者の安否確認等の役割分担、連絡体制を構築していくこと」と、平成22年に通知されている、「高齢者の所在不明や孤立死などの社会問題への対応として、孤立防止にも対応可能な住民参加型の地域づくりを推進していくこと」が求められていると認識している。また、「総合福祉センター」が、地域福祉推進の拠点となり、市計画を推進していく役割を担うものであることから、次期計画の中において、市で担う「(仮称)地</p>

	<p>域福祉推進室」の役割や、所沢社協との連携も含めた、この施設の位置づけや、担っていくべき機能についても、記載する必要があると考えている。</p>
前橋会長	<p>只今、事務局よりご説明をいただいたが、ご意見はあるか。</p>
岡村委員	<p>地域福祉計画というものをどのように捉えていくのか、イメージがしづらかった。現行の市計画の中では、障害者分野、高齢者分野などの個別の計画との共有を図りながら、地域全体としての計画を意識したものかと思うが、これと同じスタンスと考えてよろしいか。</p>
北田課長	<p>現行計画の必要な部分は踏襲しながら、また、様々なご意見も踏まえた上で、他の計画との連携も考慮しながら、進めていきたいと考えている。</p>
岡村委員	<p>災害時要援護者の問題や高齢者の所在不明問題は、個別の福祉分野の計画でも触れられているところかと思う。それらの計画とも、どのように連携を図るかが大事だと思う。また、市のまちづくりの計画とも連携を図っていくべきだと思う。策定委託については、どのような形にするか、本来の地域福祉計画の意図するところとの整合性を図りながら、進めていくべきである。一点、確認だが、策定委託を予定している内容には、社協計画の策定は含まれるのか。</p>
難波委員	<p>次期の計画の策定段階については、市と連携をしながら進めていきたいと考えているが、具体的な連携の度合いについては、今後、協議していきたい。</p>
美甘次長	<p>現在、いろいろな社会問題、福祉課題も山積している中、地域福祉計画が、単に福祉の分野だけではなく、あらゆる生活課題と関連する、という側面も踏まえた上で、社協計画とどのように連携して進めていければよいかを検討していきたい。次期計画の策定に向けては、平成26年度に作業を行うことになるので、委員の皆さまからもいろいろなご意見や情報をいただきながら、所沢市独自の、地域の色に合った計画としていければと思う。</p>
前橋会長	<p>社協計画に関連して、難波委員に質問だが、現在、この委員会の委員と、社協計画の推進を図っている地域福祉活動推進会議の委員を兼ねている方は何名いるのか。</p>
難波委員	<p>私を除いて4名である。</p>
前橋会長	<p>ありがとうございました。 では、引き続いて、議題3について、まず事務局よりご説明をいただきたい。</p>
	<p><u>(3) その他</u></p>
佐藤主査	<p>今後の予定については、まず、本日の会議を経て、11月に開催予定の第2回までの間</p>

	<p>に、委員の皆さまと郵送や電子メール等によるやりとりをさせていただき、提言書の案を作成するために、いろいろなご意見をいただきたいと考えている。第2回では、今年度末までに現行計画を総括し、次期計画につなげる意味での市長への提言を行うことを見据えて、提言書の案を提示し、それをたたき台に、改めて、委員の皆さまからご意見を伺いたい。第3回は、年明け2月ごろを予定しており、提言の最終内容の報告を行いたいと考えている。あわせて、現行計画の進捗状況の報告や、「総合福祉センター」関連の報告もさせていただきたい。</p>
前橋会長	<p>では、11月に予定されている第2回の委員会においては、事務局の方で、各委員から寄せられたご意見を集約した資料を提示していただくこととし、それに基づいて、活発な討議をお願いしたい。</p> <p>それでは、最後に、本日出席の各委員から、一言ずついただきたい。</p>
柴井副会長	<p>地域福祉計画について、委員の皆さまといっしょに、市民のために検討を進めていけたらと思っている。また、副会長として、前橋会長と力を合わせて務めさせていただくので、よろしくをお願いしたい。</p>
広瀬委員	<p>児童相談所では、いろいろな問題や虐待などの相談もあるが、行政が行うべきこと、行政にできることがあると思っている。地域では、以前にはあったようなコミュニティが減ってきており、住民同士の横のつながりが薄くなってきていると感じている。そのような中で、地域福祉計画において、子どもたちの見守りや子育て支援について、また、市民活動としての仕組みづくりや、子どもたちの健全育成の視点からの世代間交流についても、盛り込んでいければよい。</p>
難波委員	<p>所沢社協でも、現行の社協計画、また次期の社協計画についても、市計画と十分に連携を図りながら進めていきたい。</p>
羽鳥委員	<p>電子メールも活用し、これまでの経緯も踏まえて、責任をもって私なりの意見を発信していけたらと思う。特に、高齢者の所在不明や孤立死などの社会問題については、個人的に密着して関わってきた部分でもあり、スポット的になってしまうかもしれないが、特に発信していきたい。</p>
福田委員	<p>資料2にあった社協計画との連携についても、また他の部分についても同様だが、もっと平易に記載していただけたらと思う。また、何を進めていけば安心・安全な地域の実現ができるのかということが、方向性として見いだせるのか。地域にあるいろいろな団体や組織などが協力し合いながら、安心・安全な地域づくりを進めていくことができるよう、市としても、戦略を明確にし、方向性をきちんと出してほしい。</p>
山江委員	<p>地域包括支援センターにおいても、ネットワーク、連携、安心・安全なまちづくり等、</p>

	<p>漠然とした言葉だけでは地域の方々は動いてくれない、と感じている。また、災害時要援護者や孤立死などの問題も、地域ケア会議という形で話し合いもなされている。例えば、このような会議体が、社協計画に掲載されている地域福祉ネットワーク会議とも役割分担をしながら、実際に活動しやすいものとなるように、次期計画を作っていく上では、地域福祉を担う側にとっても、言葉としてわかりやすいものにしてほしいと願う。</p>
吉田委員	<p>所沢市高齢者福祉計画推進会議を代表して参加させていただいているが、介護保険事業所での経験も生かして、高齢者の視点だけではなく、障害者関連の法律の視点からも、提案をしていけたらと思う。</p>
仲田委員	<p>本日の議題として、大まかな方向性が出されて、今後はこのようなことを委員の皆さまといっしょに進めていくということなので、これから、よりよい意見を出していくことができるように考えていきたい。また、「総合福祉センター」については、昨年度、この委員会から、施設の建設にあたっての提言を出したものであり、その進捗状況については、この会議において提示していただき、意見を出し合うことができればと思う。</p>
神武委員	<p>現行計画については、最初の段階から携わらせていただいている。この計画の取り組みの中で、地域福祉コミュニティ推進事業が始まり、そして、今年で第7回を数える新所沢の「世代間交流フェスティバル」や富岡の「おっすとおみおか」等、いろいろな地域での事業が実施されてきている。言わば、現行の市計画の中で、これまで種を捲いてきたものが、どう育っていったのかを検証した上で、進めていくことが大事であると思っている。</p>
小原委員	<p>民生委員として高齢者調査に携わっているところだが、訪問してみると留守の場合も多く、実態の把握が難しい面も感じている。本日の意見の中で、個人情報の問題もあったが、地域で活動している者の実感としては、市が動くのを待っているのではなく、住民の方から動かないといけない、地域は地域で支え合えないといけない、と感じている。</p>
岡村委員	<p>NPO法人での活動の中で、これまで、他の地域福祉関連の計画策定にも関わってきた。他自治体でも、社会福祉協議会と共同で策定する事例もあり、所沢市の次期計画については、市と所沢社協とがタイミングを合わせて策定を進められるということで、期待しているところである。</p>
長谷川委員	<p>PTAで活動をする中で、一口に「福祉」といっても、その幅は広いと感じている。また、よく「地域と連携して」というが、その「地域」の実情として、例えば自治会をみても、その活動の中心となっているのは60代や70代の方である。小・中学校の生徒のお母さん方も、子ども会の活動を通じて参加もされているが、子どもが中学校を卒業してしまうと、自治活動に参加しなくなる実態もあり、活動している方々の年齢層に、ギャップがあると感じている。一人の保護者として、子どもの側でも、自分たちの将来についての不安も抱いているだろうと思う中で、未来を担う子どもたちの負担を減らすべく、これが</p>

	<p>らどうしていけばいいのか考えながら、取り組んでいきたい。</p>
大島委員	<p>自治会で活動するにあたって、私のまちから孤立死を出したくない、という思いをもっている。これから、地域の方々に、地域での住み方や周りの住民の方との接し方などについて、改めて考えていただくように働きかけていきたい。</p>
前橋会長	<p>皆さま、ありがとうございました。</p> <p>ぜひ、本日の会議の中で言い足りない部分があれば、今後、事務局にお知らせいただきたい。その上で、事務局では、次回の会議の中で有意義な議論ができるよう、準備を進めていただきたい。</p> <p>他に、事務局から補足はあるか。</p>
池田主幹	<p>「総合福祉センター」の進捗状況をお話しさせていただきたい。まず、既存の建物については、今年の10月から11月にかけて解体工事を予定している。新しい建物については、今年の5月までに基本設計を行い、ブロックプランを決定した。来年に向けては、詳細設計を行い、これまでに寄せられた要望を反映できるように進めていきたい。建設工事は、来年の7月ごろから始まる予定である。また、ソフト面については、1階の福祉センター一部分の総合相談機能に関して、関係各所属の職員により、今年の10月を目途に、中身の検討を進めているところである。</p>
美甘次長	<p>今後、建物の平面図もご覧いただきたい。また、2階部分の子ども支援センターについても、検討委員会を立ち上げ、こども支援課を中心に検討を進めている。建設を進めていく上での進捗状況については、適宜、委員の皆さまにご報告していきたい。</p>
前橋会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、本日の議題はすべて終えたので、進行を事務局にお戻しする。</p>
池田主幹	<p>4. 閉 会</p> <p>閉会を宣言した。</p>